

円売り為替介入について

<円売り為替介入を実施>

10月31日午前、米ドル買い円売り介入を実施したと、緊急会見で安住財務相が明らかにしました。8月以来約3ヶ月振り、今年3回目の介入となります。3月はG7によるいわゆる協調介入でしたが、今回は8月に引き続き日本だけの単独介入です。日本銀行は先週追加の金融緩和を決定しており、政府による為替介入と歩調を合わせた形となっています。

午前10時頃は1米ドル=75円台でしたが、介入を受けて78円台後半まで円安が進みました。12時過ぎには79円台を付けています。

<米ドル円の見通し>

夏場以降、世界経済の減速や欧州債務問題に対する懸念を背景とするリスク回避的な動きから、外国為替市場では新興国や高金利通貨等が売られ、消去法的に円が買われました。10月に入り欧州債務問題が一進一退を続ける中、為替市場では過度な懸念が徐々に払拭されて、新興国通貨や高金利通貨は買い戻され対円でも上昇(円は下落)していましたが、米ドル/円為替は円が史上最高値の水準で推移していました。

為替介入は一定の効果はあるものの、それだけで為替の方向性を反転させるのは一般的に困難だと思われます。しかしながら、当社では新興国が下支えして米国経済を始め世界経済は緩やかに景気回復すると予想していること、また既に日米の金利差は極めて小さいレベルまで縮小していることから、一方的に米ドル安円高傾向が続く可能性は低いと考えており、来年にかけて徐々に円安米ドル高の動きになると予想しています。

<米ドル/円為替の推移>



出所: Bloomberg

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。
 ■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
 加入協会 社団法人投資信託協会、
 社団法人日本証券投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引によりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、社団法人日本証券投資顧問業協会、社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会